

NEWS LETTER

架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

「知らなかった」から「知れてよかった」へ —仙台で生まれた希望の連鎖—

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川正人

皆さま、いつも「未来への架け橋」の活動をあたたかく応援いただきありがとうございます。

このたび、仙台にて開催された講演会「知的障害のある人の18歳以降の学びの場」には、実に多くの方々がご参加くださり、会場には熱気と希望が満ちあふれていました。今回は、皆さまの貴重な声と、この日交わされたまなざしを胸に、感じたことを綴らせていただきます。



7月13日（日）、仙台市で開催された講演会「知的障害のある人の18歳以降の学びの場」には、地域内外から約150名の方々がご参加され、合計で86%の方々より「満足」「やや満足」という評価がアンケートで寄せられました。

支援学校卒業後の進路が「就労一択」と思われがちな現状に対して、「こんな選択肢があったのか」「もっと早く知りたかった」という率直な驚きと安堵の声が数多く見受けられました。また、「納税者という言葉に希望を感じた」「ゆっくり社会に出る準備があつていい」という声、「大学という選択はあきらめていたが、実現に向けて動きたい」という前向きな思いも印象的でした。また、支援学校・行政・大学・企業などと連携し、地域に多様な学びの場を創り出すための具体的な提案も多数寄せられました。

たとえば、「東北福祉大学との連携」「公民館や生涯学習センターでの実践」「就労後の離職に備えた伴走支援」など、現場の切実な声に根ざした意見が並びました。加えて、「情報発信の不足」「非当事者意識の壁」にも言及され、“理解者の輪”をいかに広げるかが共生社会への鍵であると再確認できました。

この講演会は、単なる情報提供の場ではなく、一人ひとりが「我が事」として未来を見つめ直す機会となり、東北、そして全国へと希望のバトンをつなぐ大きな一歩となりました。こうした「出会い」と「気づき」の場が、地域に根を張り、やがて社会の土壌を豊かに育んでいく——。その未来を信じ、私たち「未来への架け橋」はこれからも歩みを続けてまいります。どうか皆さまも、一緒にこの道を歩んでください。

活動種類：活動内容 郊外行事山王寺（たぬき寺）参拝



昨年の夏は、宮地嶽神社の風鈴まつりに行ってきましたが、今年の夏は、山王寺「たぬき寺」の風鈴まつりに行ってきました。場所は、篠栗町の八十八か所の中の第六十一番札所です。境内には「ご縁がありますように」と願いが込められた大きな5円玉のオブジェや、打出の小槌などがあり、金運もご縁も、つつい欲ばりにお願いしてきました。暑さの中でしたが、山あいにあるせいか、風鈴の涼やかな音色のおかげか、どこかひんやりと心地よく感じられました。



MIRAICOLLEGE_UMI

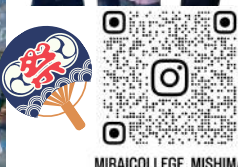
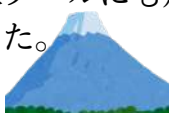
宇美キャンパスの活動はこちらから

地域活動：日本の夏、そして三島の夏



今年の日本の夏は「酷暑」と呼ばれるほどの厳しい暑さでしたが、三島キャンパスの皆さんは『水の都・三島』ならではの夏の魅力を楽しもうと、地域資源を調べながら8月の活動に取り組みました。

富士山の雪解け水が湧き出る 柿田川湧水群 は、パワースポットとしても知られており、湧き水からは“マイナスイオンが出ている”とも言われています。その清らかな水は、源兵衛川へと流れ、真夏の強い日差しの中でも冷たく心地よく、訪れる人々の心を癒します。また、源頼朝ゆかりの社・三嶋大社では、夏の大祭りが開催され、頼朝行列を見学したり、屋台で買い物を楽しんだり、たくさんの観光客で賑わう中、境内を散策しました。地域資源の活用としては、三島市民温水プールにも足を運び、涼をとりながら夏ならではの活動を満喫しました。



MIRAICOLLEGE_MISHIMA

生活：いざ、調理実習！



今月、成田キャンパスでは初となる調理実習を開催しました。調理の仕方だけでなく、身だしなみや材料の選定など、事前準備の大切さもプログラム内で理解を深めたうえで当日を迎えました。今回作ったものはホットドッグや焼きそばパンといったサンド系メニューです。包丁の扱いに不安を漏らしている方もいらっしゃいましたが、職員のサポートを受けながら慎重に、丁寧に作業ができておりました。この日の経験は、日々の暮らしの中で生かされると思います。完成した喜びをどうか忘れず、これからの人生に彩りを添えるような記憶にしてほしいです。



MIRAI COLLEGE_NARITA

成田キャンパスの活動はこちらから

学びの現場から ～こんな授業やってます！～

三島キャンパス：研究基礎 文献収集/論文の構想

みらいカレッジでは、「自分らしく生きる力」を育むために、多様な学びの場が用意されています。その中でも今回は「研究基礎」の授業をご紹介します。

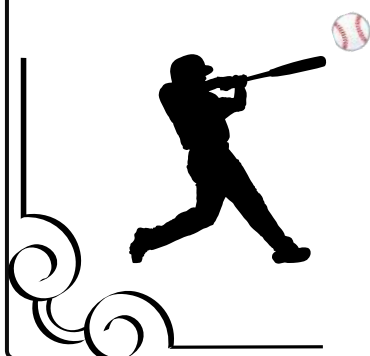
この授業では、自分の考えを言葉にして伝える力を養うことを目的に、研究論文の作成に取り組みます。相手の気持ちを想像しながら、「どう伝えれば伝わるか?」「どんな反応が返ってくるか?」といったコミュニケーションの工夫を重ね、想像力を膨らませながら、自分で選んだテーマを深く掘り下げていきます。4月・5月にはマインドマップを使ってテーマを決定し、現在は文献収集と論文構成の段階に進んでいます。スマートフォンやPC、図書館で借りた本などを活用しながら、情報を選び取る力を養っています。これはまさに、忍耐力と探究心が試されるプロセスです。

論文の完成は来年1月末を予定しており、キャンパス予選会での入賞を目指して、三島キャンパスの仲間たちは日々チャレンジを続けています。

自分自身と向き合い、表現する力を育むこの授業は、まさに「自分らしく生きる」ための土台づくりの時間です。



成田キャンパス：ベーシックコース T.Gさん



職員「みらいカレッジに入学してもうすぐ半年ですね。キャンパスライフは楽しいですか？」

T氏「うーん、普通ですね。でも普通ってことは楽しいってことなんだと思います。」

職員「たしかに！普通だと思えるのは、嫌な事が少ないからだよね。」

T氏「そうなんです。」

職員「じゃあ、どんな時に楽しさを感じますか？」

T氏「皆でスポーツをするとき！（即答）」

職員「おお、いいねえ！最近楽しかったのは何の運動ですか？」

T氏「フライングディスクを使ったドッジです。」

職員「それは楽しそうだね。他にはありますか？」

T氏「勉強も楽しいです。社会とかヘルスケアとか…」

職員「頼もしいですね！楽しい事が沢山あって良かったです。では最後の質問です。これからみらいカレッジで皆としたい事があったら教えてください」

T氏「みんなで一緒にラウンドワンに行きたいです。それかキャンパスでかくれんぼしてみたいですね。」

職員「全部、必ず実現させましょう。ありがとうございました！」

職員紹介

～スタッフさん、ちょっといいですか？～

"見えないところで支える日々、その先にある笑顔が何よりのご褒美"

法人本部 総務部長 山本 美代さん



今回ご紹介するのは、事務全般を担当しているスタッフさんです。総務、経理、財務業務など、法人運営に関わる手続きや資金管理を行い、利用者支援以外の重要な業務を支えています。

この仕事を選んだ理由は、同じ年の子どもを育てる友人のお子さんに発達障害があり、子育てに悩み苦しむ姿をそばで見えてきたことにあります。その経験から「自分にできることはないか」と考え、福祉を知ることから始めようと思い入社しました。

日々の仕事では、利用者さんや支援スタッフが安心して過ごせる事業所であるために、「見えないところで支える」ことを大切にしています。また、事業所が離れているため、事業所間のコミュニケーションも大切にしています。

直接支援の機会は少ないものの、利用者さんから笑顔で声をかけられた時は、どんなやり取りでもとても嬉しく、心があたたかくなります。見えにくい部署での業務の中、その笑顔が自分にとっての“ご褒美”だと感じています。

今後は法人の理念である「インクルーシブ社会の実現」に向けて、すべての方が自然に地域社会とつながって暮らせる環境づくりを目指します。直接支援は行いませんが、事務職として現場と行政をつなぐ“架け橋”のような役割を担えたらと思っています。

最後に、未来への架け橋を支えてくださる皆さまへ――

「いつも温かなご支援とご理解をいただき、感謝申し上げます。皆さまからのご意見やアドバイス、何気ないお声かけが大きな力となり、私たちの日々の成長につながっています。これからもあたたかなまなざしと関心を持って見守っていただければ幸いです。未来への架け橋の活動をどうぞよろしくお願いいたします。」

仙台の地域の皆さまの声

7月27日の講演会でアンケートを通じて寄せられたご感想をご紹介します。

～福祉関係者～

・高等部卒業のタイミングで相談員がつくパターンが比較的多いのですが、卒業と同時に「社会人としてのマナーを身につける」「大人として振る舞う」などの目標が立てられ戸惑う方も多いと感じています。仕事以前の課題を社会に出てから取り組むというのは、いろいろな条件が揃わないと難しいなと感じます。アメリカでは高校で人格形成に集中し、大学でいよいよ仕事を意識して学ぶ仕組みが出来つつあるというのはとても理にかなっていると感じました。日本でもそのような考え方がどんどん広まって、どんな方でも思春期、青年期ならではの経験をたくさん積んだ上で社会に出ることがスタンダードになっていくと良いなと思いました。

～学校関係者～

・18歳になったら就労することや就労の選択の仕方はどちらかという保護者がリードすべきという感覚でした。目からうろこです。本人の気持ちを大事にすることの大切さを学びました。福祉事業型カレッジができるいいですね。学び→働く→つながる、この部分の必要性、重要性、大いに感じました。

～ご家族～

・得意なものを仕事にと思っていましたが、多くの選択肢から本人が好きなものを仕事にというのが、なるほど！と思いました。
・娘と一緒に将来を思い描いてみようと思いました。
・海外での事例がとても参考になりました。健常者と差別されることなくキラキラしたキャンパスライフを送っている姿が日本でも実現されたらうれしい。

ご家族の声

～ご家族のまなざし～

No.4：三島キャンパス 和田さんご家族

こんにちは。三島キャンパス就労移行支援でお世話になっている和田コウタの母です。日頃から長谷川様、カレッジ運営の先生方並びに関係者の皆さま、ご父兄の皆さまに大変感謝しております。

少しお話し聞いて下さい。「僕ね。もっとカレッジで勉強したいんだよ。」から彼の成長が始まったんです。先日、家族でキャンプへ行ってきました。前日に一苦勞しながら荷造りをしていた私に向かって、涼しい顔をして「お泊りセットはリュックにまとめたよ。見てね。」っと。見るとリュックには、ポーチがいくつか入っていました。ポーチの中には、スマホと充電ケーブルなどの小物や温泉セットにハミガキセット、下着にTシャツにボトムスなどが分類して入れられ、そしてリュックの上にはサングラスと帽子が置かれていました。どうやら、過去のキャンプ経験でまとめたメモを使って構造化されたお泊りセットを準備したようです。そして、移動中は、車内で寝たり、歌ったり、カレッジの出来事を話してくれたり、スケジュールの確認をしながら旅先の食べ物やお土産などについて話したり、その場を盛り上げてくれました。家族と楽しみを共有し、自分の気持ちも大切にできる心の成長がありました。

テント設営の時は、テントのペグ打ちとキッチングッズの組み立てをお願いしました。とても暑い日でしたが彼なりに作業の全体の流れを確認した後、険しい顔をしながら黙々と宿泊に使うグッズを組み立て、テント内に配置してくれました。とても安心感のある作業風景でした。そんな彼を見て思います。みらいカレッジとの出会いが彼の血となり肉となっています。そして社会生活プログラムの要素を盛り込んだ10冊の教科書は、「僕ね。もっとカレッジで勉強したいんだよ。」と言う彼の新たな光となっています。この先も多様な事が待ち受けていますが、インクルーシブ社会の実現に向けて大いに知恵を絞っていききたいものです。



成田キャンパス 管理者 山本 和子

第107回夏の高校野球が先日幕を閉じました。今年も数々のドラマがあり、多くの人の心を動かし、と思います。その中で特に印象に残ったのは、障害を持ちながらもグラウンドに立ち、夢を追いかけた選手たちの姿が記事になっているのを目にしました。

新潟県大会に出場したある選手は、生まれつき右手の指が5本ともありません。それでも諦めず工夫を重ね、仲間と共に練習を続け、公式戦では見事に安打と盗塁を決めました。その瞬間、ベンチもスタンドも大きな拍手に包まれ、「夢に壁はない」というメッセージが球場全体に広がったように感じました。その背景には、本人の努力はもちろん、仲間や支援者が「できない」ではなく「どうすればできるか」を一緒に考え、背中を押してきた存在があります。そうした関わりがあったからこそ、一人の思いが実現し、多くの人に希望を与える瞬間が生まれたと思います。

障害の有無に関わらず、誰もが自分らしく夢を追いかけられる社会。高校球児たちの挑戦は、まさにインクルーシブ社会の実現へとつながる大切な一歩を示してくれたと思います。私たちもまた、日々の関わりの中で「誰も取り残さない」社会づくりに思いを寄せたいと思います。

そして、私にできることとして、身近な人の思いに耳を傾け、そっと背中を押せる存在でありたいと願います。



最高の1枚

～今月のベストショット～

各キャンパスおすすめベストショット

成田キャンパス

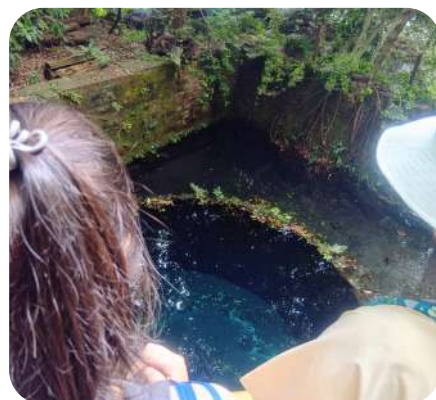
調理実習
ダブルピース

宇美キャンパス



夏の風物詩

三島キャンパス

地域活動 柿田川湧水公園
パワースポットからパワー吸収中!

読者の声

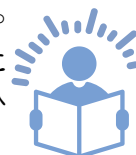
～架け橋ひろばを読んで～

第4号を読んでくださった方から届いた嬉しいお声を紹介いたします!

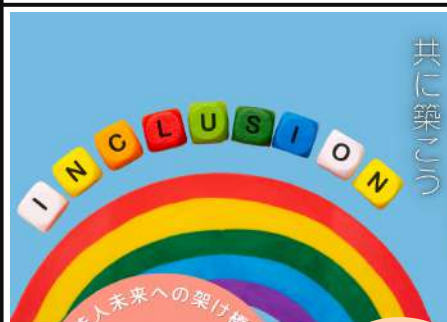
・いつも印象に残る内容ばかりですが、愛知でのご講演参加者の方々のコメントにあった「教育の場がもっと増えることを願う」、との言葉が響きました。私たち読者も、何かお役に立てることがあるのでは?と考えさせられました。いつも応援しております。

・ニュースレターありがとうございました。長谷川様のあたたかな眼差しと熱意を感じます。

・今回で2号目の拝読になりますが、皆さんの笑顔の写真やスタッフの皆さんの熱い言葉に毎回元気をもらっています。どのキャンパスの行事もとても楽しそうで、機会があればぜひ参加してみたいと思いました。暑い日が続きますが、どうかご自愛ください。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



インクルーシブ
社会の架け橋を
共に築こう

活動内容

＞福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

＞会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】

法 人	特別会員：10万円
	正 会 員：5万円
	賛助会員：1万円
個 人	特別会員：3万円
	正 会 員：1万円
	賛助会員：3千円



入会特典キャンペーン
代表理事 長谷川正人の
著書を1冊プレゼント！

架け橋の会
会員募集

広がる架け橋コミュニティ
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーフラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営研究所、北村悦子、酒井 巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、石川真希子、砂長美ん
※敬称略・順不同。賛助会員の皆さまのご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ掲載させていただきます。

お知らせ

～講演会・イベント情報～

みらいカレッジでは、下記のお申し込みを受け付けています。
ホームページまたはメールにてお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
info@miraicollege.com

オープンキャンパス

▷こんな方におススメ
キャンパスの雰囲気や取り組みをじっくり
知りたい方

- ・管理者による概要説明
- ・ご希望に応じて体験授業や個別面談も実施

キャンパス見学

▷こんな方におススメ
実際のプログラムや利用者の様子を見てみ
たい方

- ・ご興味のあるプログラムを見学可能
- ・見学後には管理者との個別相談あり

オンライン説明会

▷こんな方におススメ
日中に時間が取りづらい方、代表理事の話
を聞きたい方、遠方にお住まいの方

- ・ご自宅から参加可能
- ・代表理事 長谷川正人より概要説明

代表理事による出張講演会

▷こんな方におススメ
代表の想いを直接聞きたい方、団体でのご
参加を検討されている方

- ・ご家族・親の会、教育・福祉関係者の皆様
- ・ご希望のエリアでの出張講演

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。

「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでもご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。



Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
	1	2	3 地域活動(三島) オンライン 説明会	4	5	6 閉所日
7 閉所日	8	9	10 郊外行事(宇美) 地域活動(三島) オンライン 説明会	11	12 特別講座 (成田)	13 閉所日 オープンキャン パス(三島)
14 閉所日	15 自然探索 御胎内温泉 (三島) BBQ (成田)	16	17 地域活動(三島) オンライン 説明会	18	19	20 閉所日 地域活動(宇美)
21 閉所日	22	23 調理実習 (三島)	24 地域活動(三島) オンライン 説明会	25  オンラインキャン パス交流会 (全キャンパス)	26	27 閉所日 地域活動(宇美)
28 閉所日	29	30	オープンキャンパス・説明会 お申込みは、左のQRコードまたはホームページ から受け付けております。 ご不明な点がございましたら、お電話またはメー ルにてお気軽にお問い合わせください。			



読者アンケート

いつも「架け橋ひろば」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

皆さまから寄せいただく感想やご意見は、私たちにとって大きな励みとなっております。

今後もより良いニュースレターをお届けできるよう努めてまいりますので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。



編集後記

広報部より

架け橋ひろばも第5号目となりました。読者アンケートや感想をお寄せいただく機会も少しずつ増え、ありがたく、また大きな励みとなっております。どのコーナーも楽しみにしておりますが、とりわけ各キャンパスのご家族からいただく「ご家族のまなざし」のメッセージには、毎回胸を打たれます。さらに、講演会のアンケートを通して寄せられるご家族や教育・福祉関係者の皆さまの声も、未来を考えるうえで大変貴重であり、私たちの力となっています。皆さま、今後ともどうぞお気軽にご意見・ご感想をお寄せいただけますと嬉しく思います。(宮入)



MIRAI_COLLEGE



学びをチカラに。未来を拓く!

一般社団法人未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問
合
せ

〒811-2129

福岡県糟屋郡宇美町神武原3-1-1

E-Mail:info@miraicollege.com

